

学校評価全体を通して

◇全体を通して（学校運営協議会委員より）

<図書>

○図書について、読書をする割合が少ないのが気になります。いろいろな本と触れ合う時間を作るが必要だと思います。

○「自分の心が動いた表現を探してごらん」と働きかけることが、大切だと思います。

<地域連携>

○「地域連携」の地域行事については、公民館と学校との連携を大切にしていきたいと思います。「子どものつどい」については、参加者がもっとほしいと思っています。

<わんぱく活動>

○自分を見つめる力から他人を理解しようとする力、主体的に考える力の育成は、わんぱく活動（異学年交流）を行っていることが大きいと思います。

<その他>

○子供たちが楽しそうです。この雰囲気の中で進めていただきたいです。

○保護者も子供もアンケートの数値が高く、学校に安心して任せられます。

○「朝型の子供を大切に」というメッセージを発信することが大切です。

○先生方は児童全員を見ることができていますか。子供が「自分を見つめてくれる」と思えば、「存在を認めてくれる」ことになります。子供の心を大切にしてください。

◇今後の取り組みについて

○学力向上に関しては、学力向上校内委員会が中心となり、子供たちの学力向上に向け、指導内容の充実、指導方法の工夫を進めていくとともに、校内全体で組織的に個別最適な学びの実現に力を注いでいきます。特に、子供たちに普段から学習全体の見通しを持たせるとともに正しい自己分析の仕方を身につけさせることで、課題に向かう意欲を高めていきます。

○道徳の学習と本校の特色であるわんぱく活動を連携させ、子供たちの豊かな心の育成に努めていきます。

○図書の時間や低学年の週1回の読書タイムを中心として、本に触れる機会を積極的に増やしたり、本により親しみをもたせたりすることで、子供たちが進んで読書をするよう取り組んでいきます。

○いじめの早期発見・未然防止・再発防止に関しては、生徒指導部会の機能を強化するとともに、全教職員で共通理解、共通行動で取り組むよう努めます。また、保護者の方との情報共有、経過報告等についても連携を深めていくよう努めます。

○子供たちに対し、SNSなどのトラブルやスマホ依存症といった実例を示しながら、スマートフォンの使い方や情報リテラシーなど継続して指導していくとともに、家庭への啓発を積極的に取り組んでいきます。

○安全教育について、学校全体で定期的に指導を行うと共に、家庭や地域の方も巻き込んだ安全教育に取り組むことで、学校、家庭、地域で子供たちの安全を守る体制を構築できるよう積極的に働きかけていきます。

○学校運営協議会や父母と教師の会などの協力を得ながら、地域教育力の活用や家庭教育力の向上に取り組んでいきます。また、積極的に地域に学校の教育活動を発信し協働することで、地域とのつながりを深めていけるよう努めていきます。

◇今年度の学校評価を終えて

保護者の皆様をはじめ、学校運営協議会委員の皆様には、様々なご協力やご意見をいただきました。皆様のあたたかい見守りや励ましは、子供たちの学びの充実の原動力となりました。感謝申し上げます。変化の激しい社会の中で生きる力を子供たちに育んでいくためには、学校だけでなく、ご家庭や地域の皆様のお力がますます必要となってまいります。ご家庭・地域の皆様との連携の上、子供たちの教育にあたっていきたく思いますので、これからも学校教育活動へのご理解ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。多くの貴重なご意見を次年度からの学校運営に生かしてまいります。ありがとうございました。